



全被造界のいのちを心にかけて

2021年7月

私達カロンデレット聖ヨゼフ修道会会員、アソシエート、コンソシエート、オハナファミリー (ACOF) にとっての緊急性は、勇気を持って対話し、預言的行動を取るようにと呼びかけられています。

2019 総会の決意

私たち皆、カリスマに生きるよう呼ばれています。

テレーズ シャーロック、CSJ



神は、未来に向かって私たちをどのように呼びかけておられるのか、これは本会の構成メンバーの写真です。私たちを見てください。私たちは姉妹であり、ACOF です。私たちは聖ヨゼフの働き手であり、聖ヨゼフの友達です。私たちは使徒職と宣教のアグレジエの仲間であり、パートナーです。私たちは相互に迎えられ、全被造物に対する神の愛を地域社会にもたらすという偉大なわざを支え合います。

パンデミックによって引き起こされた孤立と不安は、通常の方法では、続けることができなくなりました。それで、ズームを多く使用し、電子メールを送信し、サポートしました。メモを書いて封筒に切手を貼り郵送しました。葬儀や追悼式はオンラインで参加しました。各管区からの毎月のニュースレター『私たちはカロンデレットです』を手に取り、時間をかけ、せっせと読みました。私たちのカリスマの一部は何らかの形で健全に行われています。

- 2019 総会指針は、私たちの心と行動にもっと深く入り込んだのです。
- 会を挙げて、シスターズはアメリカとメキシコの国境で、家族に奉仕しました。
- 日本では、自分たちの国にいる難民を擁護するため、姉妹たちにも参加するよう頼みました。
- セントルイス アソシエートのオフエリア・ウイルソンは、セントルイスのチャールズ・ルワンガ・センターから生涯功績賞を受賞しました。
- セントポール司法委員会のワーキンググループは、私たちの原住民の土地使用に関する承認声明を作成しました。
- 14人の女性がペルー アミガス・デ・サンホセの最初のアソシエートグループになるため結成されています。
- 本会に女性が修道女として入会しました。3人は、初誓願を立てました。
- オールバニーからルイジアナに至るまで、私たちは物を削減し、リサイクルし、再利用し、肥料を作りました。
- LAの姉妹によって始められたバスに乗ることは、アリゾナ州の刑務所へと広がりました。
- ACOF 会員数は増え続け、多様性も増えています。

このパンデミックの年に、私たちは、創造的でお互いが自己創造的であることを学びました。私たちは共同体であり、孤独です。私たちは、一人で関わっています。

聖体拝領は、私たちの食べ物だけでなく、目的でもあります。聖霊は私たちを一つにするだけでなく大勢の人を一つにします。一つにする聖霊は、多様な形態でのいのちの与え主です。私たちの多様性は、私たちの強みです。私たちは、聖霊の呼びかけに共に応える準備ができています。